

東京都における犬の飼育実態調査の概要

参 考

(平成 18 年度)

東京都福祉保健局

1 調査目的

東京都における犬の飼育実態を把握することにより、今後の動物愛護管理施策や普及啓発の基礎資料とすることを目的とした。

2 調査期間

平成 18 年 9 月 8 日から 12 月 28 日

3 調査項目

- (1) 資料調査（現地調査方法の検討、調査区域の選定、アンケート調査票の設計のための資料調査）
- (2) アンケート調査（飼育実態調査及び犬に対する都民意識調査）

4 調査対象地域及び内容

猫の飼育実態調査と同じ地域を対象として、アンケート調査を行った。

5 調査結果

(1) 回収状況

調査票の回収数は、猫の飼育実態調査と同様、1,131 通（24.6%）であった。

(2) 犬の飼育実態調査結果

飼育世帯の割合と平均飼育頭数

犬を飼育している世帯は、東京都の総計では 15.0%であった。

住居形態別に見ると、一戸建てでは 17.1%の世帯で飼育しているのに対し、集合住宅では 6.5%の世帯で飼育していることが分かった。（表 1）

住居形態別の平均飼育頭数は、一戸建てで 1.19 頭 / 1 世帯、集合住宅では 1.15 頭 / 1 世帯となり、犬を飼育している一世帯あたりの平均飼育頭数は、1.19 頭であった。（表 2）

表 1 住居形態別飼育世帯数の比率（犬・猫）

	一戸建て	集合住宅	全体
犬	17.1%	6.5%	15.0%
猫	11.9%	9.6%	11.5%

表2 一世帯あたりの住居形態別の平均飼育頭数（犬・猫）

	一戸建て	集合住宅	全体
犬	1.19 頭	1.15 頭	1.19 頭
猫	1.73 頭	1.27 頭	1.66 頭

東京都全体の飼育頭数の推定

住居形態別の飼育世帯の割合と一世帯あたりの平均飼育頭数から、東京都全体では65万頭以上の犬が飼育されていると推計された。住居形態別に見ると、世帯数の多い集合住宅では約30万頭、一戸建て住宅では約37万頭と推計された。（表3）

犬では猫に比較して、一戸建てと集合住宅における飼育世帯の割合に差が大きく、ペットの飼育可能な集合住宅が普及している現状を鑑みると、犬の飼育頭数については、必ずしも実態が反映されているとは言えず、参考値とした。

表3 東京都における犬の推定頭数

住居形態（世帯数）	飼育頭数 /1世帯	飼育世帯数 の比率	推定個体数	
一戸建て(1,809,559世帯)	1.19	17.1%	37万頭	65万頭以上
集合住宅(3,716,195世帯)	1.15	6.5%	30万頭	
その他（100,206世帯）	1.19	15.0%		

世帯数：国勢調査での世帯割合を参考に算出

その他は寺院など。数値は全体の数値より推計した。

飼育形態（屋内飼育と屋外飼育）

世帯別に飼育形態を考察すると、全体の64.6%が屋内飼育し、19.4%が屋外飼育、16.0%が屋内・屋外の出入り自由であった。

入手経路

犬の入手経路は、「ペットショップで購入」が58.9%で最も多く、次いで「友人・知人から」が22.9%が多かった。

猫に比較すると、犬はペットショップで購入する人が非常に多く、その原因の一つには、特定の品種を求める傾向が猫に比較して高いためと思われる。

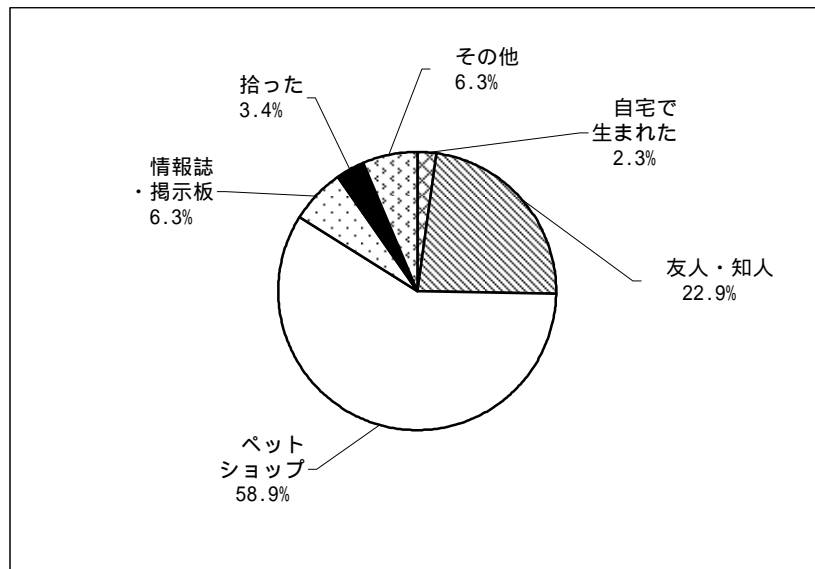


図1 飼い犬の入手経路 (n = 175)

犬の散歩

散歩の時間は、朝あるいは夕方に散歩する人が 23.3%、21.2%と多い。

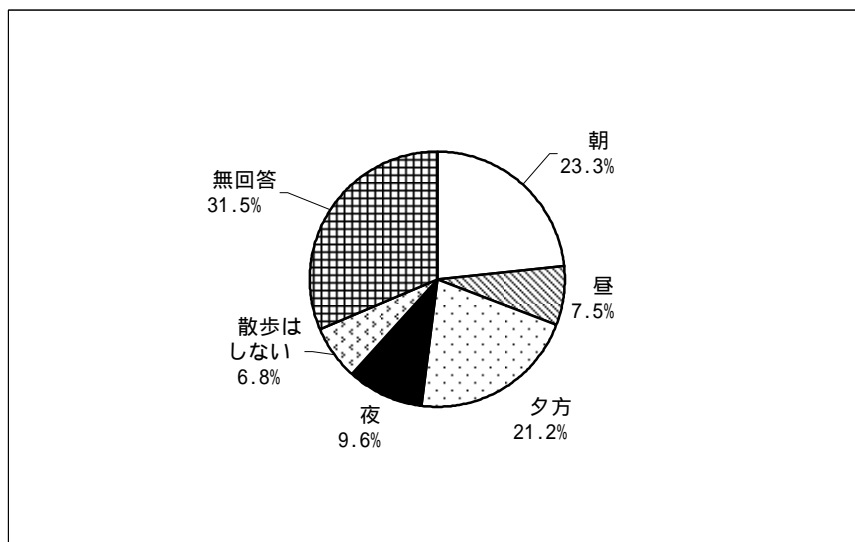


図2 散歩の時間

飼育費用

1年間にかかる費用のうち、食料費は3~6万円と回答した家が多く(35.3%)、次いで1~3万円(30.1%)であった。医療費も同額の3~6万円と回答した家が多く(41.4%)、次いで1~3万円(29.7%)であった。

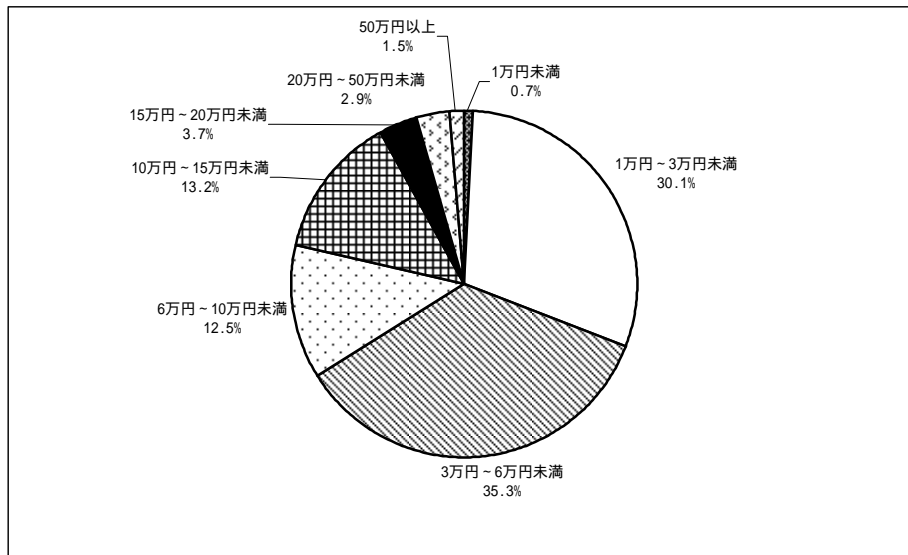


図3 1年間あたりの飼育費用(食料費)(n = 136)

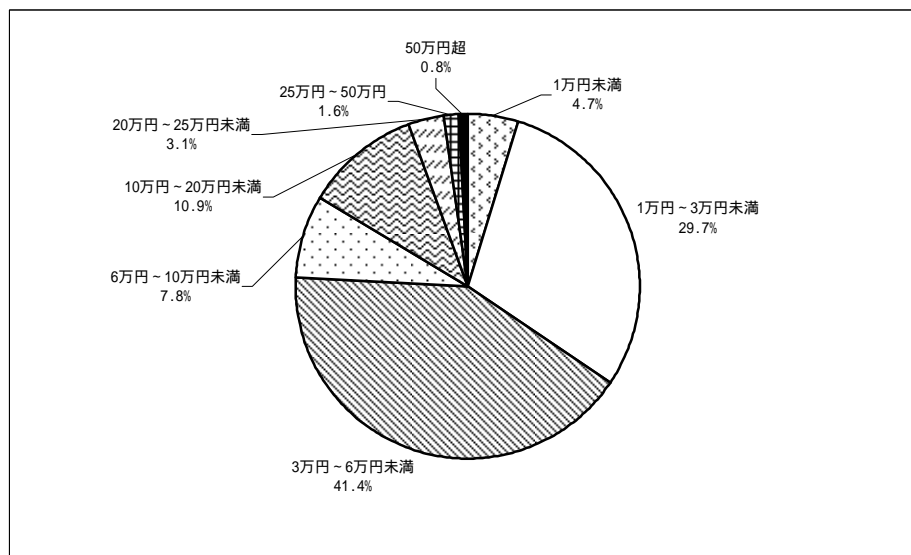


図4 1年間あたりの飼育費用(医療費)(n = 128)